

○田中俊行、土井康作、長島正明、中本幸子、菅原一孔(鳥取大学)

はじめに

鳥取大学の産学・地域連携推進機構(機構長:菅原一孔)は、研究推進部門、知的財産管理運用部門、地域貢献・生涯学習部門、米子地区地域連携部門を配置し、産学官金の連携活動を推進している。本学は、平成 20 年度に科学技術振興機構(JST)の地域科学技術理解増進活動支援事業(3 年間)の採択(代表:土井康作)を受けて、土井を中心に「ものづくり協力会議」を結成し、鳥取県内で地域の住民を対象にして、子ども達にもものづくり技術や科学を教える「ものづくり指導者」の養成を行う「ものづくり道場」を創設し、現在に至るまでその活動を続けている。本機構は、この事業の参画・支援を行っている。

現在、鳥取県内には東部地域に鳥取ものづくり道場、中部地域に中部ものづくり道場、そして西部地域に米子ものづくり道場がある。その企画・運営は、各地域のものづくり運営会議が行っている。

演者の田中は「米子ものづくり運営会議」(米子会議と略す)を結成し、米子会議は米子市児童文化センターに「米子ものづくり道場」を創設した。今回、米子ものづくり道場の創設から現在に至るまでの活動について、地域産業を担う企業との産学連携の取り組みを中心に報告する。

内容

◆米子ものづくり運営会議について

大学が主催の科学技術の体験型事業(科学実験講座、ものづくり講座等)は、その運営を大学内の教員のみ、または関係する高等教育機関の教員を加え、組織化して行う場合が大部分である。

米子会議は、鳥取大学の他に、この地域の高等教育機関、行政機関及び外郭団体、青少年育成民間団体、および地元企業の協力で、結成されている。多彩な人材による委員構成が、米子会議の特徴である。第 1 回の米子会議(Aug. 2009)には企業 3 社が参加し、全委員 20 名のうち企業からの委員は 4 名(20%)となった。企業人の米子会議への参加に、担当コーディネータの人脈が大きく働いた。現在、委員は 26 名、参加企業は 5 社に増え、そのうち 5 名(継続 3 名、新規 2 名)が企業からの委員である。

◆米子ものづくり道場創設事業について

米子会議は、米子ものづくり道場創設事業(フォーラム・伯耆秋の手づくりまつり)(Oct. 2009)を米子市児童文化センターで実施し、この手づくりまつりに米子会議の参加企業 3 社すべてが出展した(図 1)。

手づくりまつりの参加者は 230 名となり、大盛況であった。



「因幡の白うさぎ」にかわいい目をつけよう
(寿製菓株式会社 山根理道 岡松真司 木村英人 河場 岬)



ペーパークラフト風力発電機
(有限会社埴田精密 佐々木 禎)



金属をけずると出る火花って・・・
(金属熱処理協業組合 渡辺英人)

図1 伯耆・秋の手づくりまつり出展企業ブース

◆ものづくり指導者養成講座について

米子会議の事業目的は、主に地域住民を対象にしたものづくり指導者の養成である。平成21年2月に、第1回のものづくり指導者養成講座(指導者講座と略す)を開催し、4つの選択講座を開講した。そのうち2講座の講師を企業の委員が担当した(図2, 3)。同時に、企業の持つものづくり技術を活かして、指導者講座で使う教材開発を行った。



図2 ウォーキングライトをつくろう

(日下エンジニアリング株式会社 佐々木 禎)



図3 ジャムをつくろう

(寿製菓株式会社 木村英人)

これ以降の企業人による指導者講座のタイトルと講師名は、第2回(Jul. 2010)に「廃油ロウソクをつくろう」(サンイン技術コンサルタント株式会社、向井哲朗)、第3回(Feb. 2011)に「動くおもちゃ箱をつくろう」(大山プレカット協業組合、吉岡総一郎)、「昔、砂漠を旅していたアラブの商人が偶然発見したチーズをつくろう」(大山乳業農業協同組合、田中耕太郎)である。

鳥取県全体の指導者講座で講師を務めた企業人は既述の5名のみであり、4名が米子会議の委員である。企業人として、講師と教材開発という不慣れで、また多くの時間を使う仕事も引き受けて頂いたことに、深く感謝する次第である。

◆ものづくり道場教材集について

平成23年4月、ものづくり協力会議は鳥取県東・中・西部の3か所のものづくり道場の指導者講座で使用した教材をまとめる形で、ものづくり道場教材集(ものづくり協力会議編、教育図書株式会社発行)を刊行した。この本に、米子会議が関係した企業人による5教材のうち3教材が選定・収録された。

◆米子ものづくり道場の修了者の活躍について

現在(1 Nov. 2011)までに、米子会議は指導者講座を4回実施し、110名が受講した。このうち35名が、実地演習試験を経て、ものづくり指導者として認定する修了証書を受け取っている。

これら修了者は、米子市子ども大会、伯耆・秋の手づくりまつり、公民館祭などの体験型出展イベントで、ものづくり道場の教材を使って、子ども達にもものづくりの楽しさを伝える経験を積んでいる。

◆米子ものづくりカフェについて

米子会議は、平成23年5月から毎月1回、「米子ものづくりカフェ」を開催し、指導者講座の講師と修了者等が集い、教材のアイデアなど自由に意見交換を行う場を提供している。

おわりに

米子会議では、多彩な顔ぶれの委員の自由な意見交換がなされ、和気藹藹とした雰囲気がつくられている。このことが発展的で、着実な活動実績に結びついていると考えている。

最後に、米子会議委員の皆様の協働と協力機関のご支援に感謝致します。